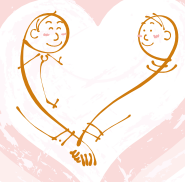


# しごとサポート!



第25号

※障害のある方が安心して働き続けることができるように、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

## 新型コロナウイルス感染症 × 障害者雇用

『障害のある方が安心して働き続けられる』ことを目指して

新型コロナウイルス感染症流行下において支援を必要とされている方のニーズを把握するためにアンケートを実施致しました。

### ●アンケート概要

テーマ：新型コロナウイルス感染症拡大に伴う  
就労状況への影響について  
「新型コロナウイルス感染症流行下での  
現在の就労状況についてお答えください」  
期間：令和3年6月7日から25日まで  
法方：郵送法（アンケート用紙による自記式調査）  
対象：就業中の登録者305名に送付  
（基準日：令和3年4月30日）  
回答数：167件 54.75%（掲載同意：131件 42.95%）

### ●回答者属性

※手帳重複者は9名おり、未回答の1名を除き

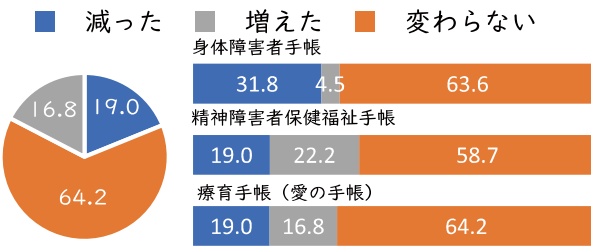
手帳ベース（N=139）にて集計を実施

雇用形態 (N=130)	全体 手帳 (N=139)	身体障害者手帳	精神障害者 保健福祉手帳	療育手帳 (愛の手帳)
	139 (100)	24 (17.3)	63 (45.3)	52 (37.4)
正社員 (障害者雇用)	34 (26.2)	6 (28.6)	16 (25.8)	12 (25.5)
正社員以外 (障害者雇用)	79 (60.8)	13 (61.9)	33 (53.2)	33 (70.2)
正社員以外 (一般雇用)	5 (3.8)	0 (0.0)	4 (6.5)	1 (2.1)
正社員 (一般雇用)	12 (9.2)	2 (9.5)	9 (14.5)	1 (2.1)

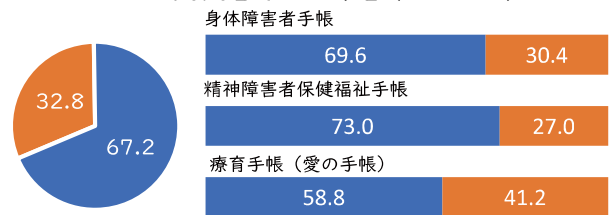
※()は有効回答数を100%としたときの割合(単位%)

### 収入【有効回答】(N=137)

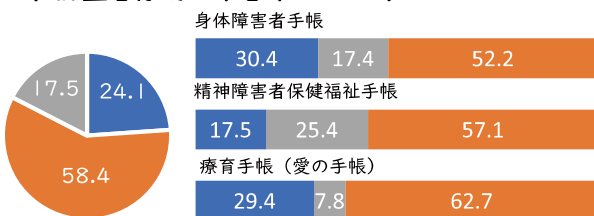
※有効回答数を100%としたときの割合(単位%)



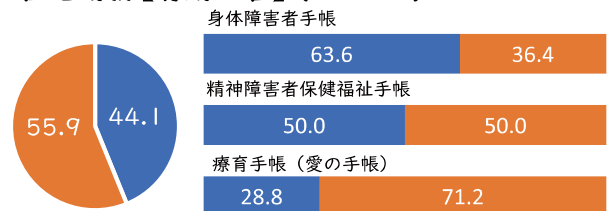
### 勤務時間の変更【有効回答】(N=137)



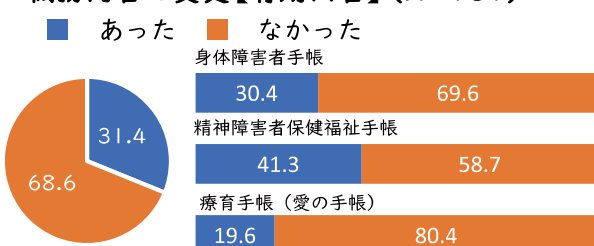
### 業務量【有効回答】(N=137)



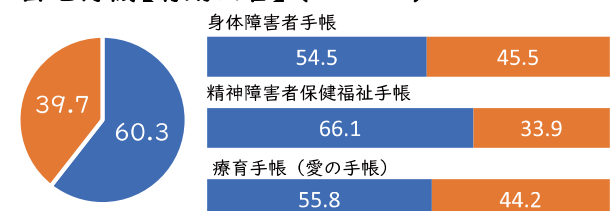
### 在宅勤務【有効回答】(N=136)



### 職務内容の変更【有効回答】(N=137)

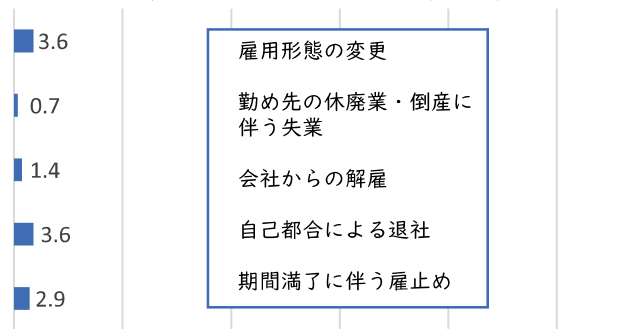


### 自宅待機【有効回答】(N=136)

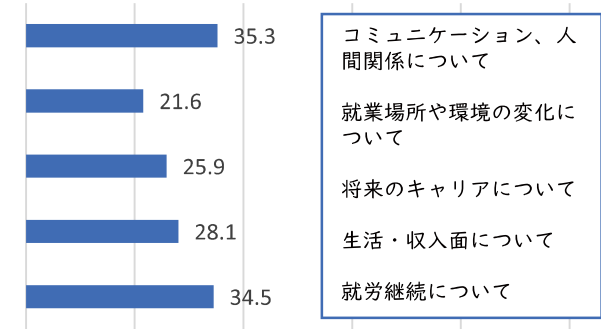


## 雇用形態の変化【有効回答】(N=17)

※有効回答数を100%としたときの割合(単位%)



## 気になること・相談したいこと【有効回答】(N=202)



各項目	全体	身体障害者手帳	精神障害者 保健福祉手帳	療育手帳 (愛の手帳)	χ <sup>2</sup> 検定	
職務内容の変更	あった	43(31.4)	7(30.4)	*△26(41.3)	*▼10(19.6)	*
	なかった	94(68.6)	16(69.6)	*▼37(58.7)	*△41(80.4)	
在宅勤務	あった	60(44.1)	*△14(63.6)	31(50.0)	**▼15(28.8)	*
	なかった	76(55.9)	*▼8(36.4)	31(50.0)	**△37(71.2)	
生活・収入について	気になる・相談したい	39(28.1)	7(29.2)	**△26(41.3)	**▼6(11.5)	**
	気にならない	100(71.9)	17(70.8)	**▼37(58.7)	**△46(88.5)	
将来のキャリアについて	気になる・相談したい	36(25.9)	3(12.5)	**△29(46.0)	**▼4(7.7)	**
	気にならない	103(74.1)	21(87.5)	**▼34(54.0)	**△48(92.3)	
コミュニケーション、人間関係について	気になる・相談したい	49(35.3)	*▼4(16.7)	**△31(49.2)	14(26.9)	**
	気にならない	90(64.7)	*△20(83.3)	**▼32(50.8)	38(73.1)	

※( )は有効回答数を100%としたときの割合  
 ※所持している手帳別のクロス集計を行い、回答内容についてχ<sup>2</sup>検定を実施した。尚、統計的有意水準は5%未満とし、全体としての関連性(独立性)が評価できた項目に対しては残差分析(△▼)を行った。  
 \*:p<0.05 \*\*:p<0.01

### ●収入の変化

全体の8割が変わらない・増えたと回答した。一方で減ったと答えた方の中には、「収入が減り家賃の支払いが出来ない」と緊急で支援を必要としている声もあった。また、収入が変わらないと答えた方の中でも、「会社の売上げが下がっていて将来に不安を感じる」「会社の業績が悪くなり契約を更新してもらえないか不安」という就労継続に対する不安の声が目立った。

### ●業務量・勤務場所の変化

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方では、在宅勤務に伴う職務内容の変更や業務量による悩みが目立った。「リモートワークが常態化し、業務量が増えて残業せざるを得ない日が増えてしまったことから負担を感じる」「残業しなければ業務量がこなせないが出来ないとも言えず不安が続いている」という回答があった。一方で、「通勤時間がなくなり、以前より楽に勤務できるようになった」という回答もあった。また、療育手帳をお持ちの方では「在宅勤務の日のできる仕事が無いので給料どろぼうと思われていないか気になっている」「自宅待機中で給与は会社から半分もらっている」との回答があり、項目でも在宅勤務があった割合が少なかった。なかには「会社は自分

の意思とは関係なくテレワーク勤務は難しいと判断して自宅待機となりましたが、(新型コロナウイルス感染拡大)の終息が未だに見えないので、なんとかテレワークが実現できるように取り組んでほしい」という切実な声もあった。

テレワーク等の新しい働き方のスキルをお持ちの方やスキル取得に向けた学習機会を持っている方と学習機会が持てない方とで雇用に格差が生じる事がないように、ポストコロナに向けた新しい働き方への就労支援を検討してゆきたいと考えています。

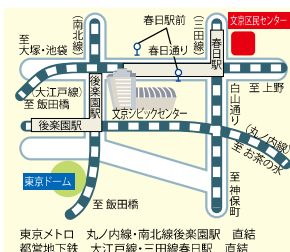
### ●気になること・相談したいこと

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方の割合が高く「在宅勤務になり生活のリズムを整えるのが大変」「リモートが続くと社会スキルが退化して考え方が以前(体調が悪かった)に戻ってきている」など変化への対応に苦悩する回答が多かった。一方で、療育手帳(愛の手帳)をお持ちの方の割合は全般的に低かった。

### ●綴られた思いに寄り添った支援を目指して

文京区障害者就労支援センターでは感染防止策と就労支援を両立して実施しています。生活講座や支援者研修会等事業は一部オンライン化を行い、職業ガイダンスは分散開催をして実施しています。アンケートの内容は、新型コロナウイルス感染症流行現下の支援状況を参考に、項目を考え設定しました。設問に対する信頼性や妥当性は検討されていないため、得られたアンケートの集計内容の解釈には慎重になる必要がありますが、沢山の方が綴って頂いた思いに感謝し、今後の当センターでの相談対応等の実務や今後の施策に活かしていきたいと考えております。新型コロナウイルス感染症流行下及びポストコロナにおいても『障害のある方が安心して働き続けられる』ことを目指して関係機関と連携しながら、引き続き就労面と生活面の支援を行って参ります。

(構成:秋元 全和・多田 理恵子)



## 就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601 E-mail: daihyo@bunkyo-shurou-shien.jp

文京区民センター1階 文京区障害者就労支援センター  
 〒113-0033 文京区本郷4-15-14

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」第25号(令和3年8月20日発行)

発行■文京区障害者就労支援センター 毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。